



# 鳴門病院だより



## 理念

私達は皆様に信頼される病院づくりを目指し安全な医療を親切に提供することに努めます

## 患者サポートセンター開設 ～1年を振り返って～

### 目次：

患者サポートセンター開設 1年の振り返り	1
ご寄贈いただきました	2
世界糖尿病デーに伴う ブルーライトアップ 糖尿病患者様との関わり	3
徳島県鳴門病院看護専門学校 戴帽・点火式	4
徳島県鳴門病院看護専門学校 オープンキャンパス2020 健診のススメ	5
新生児蘇生法講習会 を行いました サーモグラフィを 導入しました	6
研修医のつばやき 地域医療支援病院の 紹介率・逆紹介率	7
外来診療案内	8

### 患者サポートセンター副センター長 郡 章人

2019年10月に患者サポートセンターを開設し、1年が経過しました。患者サポートセンターは、MSWや専任の看護師を中心に院内の多職種、他機関の専門職の方にもご協力いただきながら、患者さん、ご家族の抱える様々な療養上の不安や心配毎に対する総合相談窓口としての機能をもったセンターです。地域医療連携、医療福祉相談、入院予約時サポート、多機関多職種連携に基づいた退院支援の4機能を核に、地域とのネットワークづくり活動、講師派遣、看護学生や社会福祉士を目指す学生の実習等の受け入れ、そして研究・学会発表等の多岐に亘り、この1年間に活動して参りました。患者サポートセンターをご利用いただきました患者さん、ご家族の皆様、そして、患者さんへのご支援にご協力・ご尽力いただきました院内スタッフ、及び地域の支援者の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。

本年度の新たな取組では、「徳島県鳴門病院・連携医療機関登録制度」を12月1日より開始しました。連携医療機関から登録申請をさせていただきますと鳴門病院と連携している医療機関の証として「徳島県鳴門病院 連携医療機関証」を交付させていただきます。かかりつけの医療機関の皆様には、「徳島県鳴門病院 連携医療機関証」を院内にご提示いただき、当院と皆様方が密に連携している間柄だという証を患者さんへご周知いただければと思います。また、登録申請をいただいた際の情報は当院から逆紹介、後方連携する際、患者さんへの情報提供の資料として積極的に活用できればと考えております。

現在、鳴門市の医療機関の85%、板野郡の医療機関の50%から連携医療機関登録申請を頂いております。2021年1月には「鳴門病院 連携医療機関証」をお届できるよう準備しております。まだ「徳島県鳴門病院 連携医療機関登録申請」をお済でない医療機関の皆様には、是非、登録申請をお願いできればと考えております（鳴門病院ホームページ・地域医療連携室に資料がございます）。

### 入院予約が決まった時点からサポート

患者サポートセンターの専任の看護師が、

入院することになったんですが

入院するにあたり心配なことは？

普段の生活状況を教えてください

入院では...

薬剤師が... 薬のこと

生活上の相談事

ソーシャルワーカーが...

管理栄養士が... 食事のこと

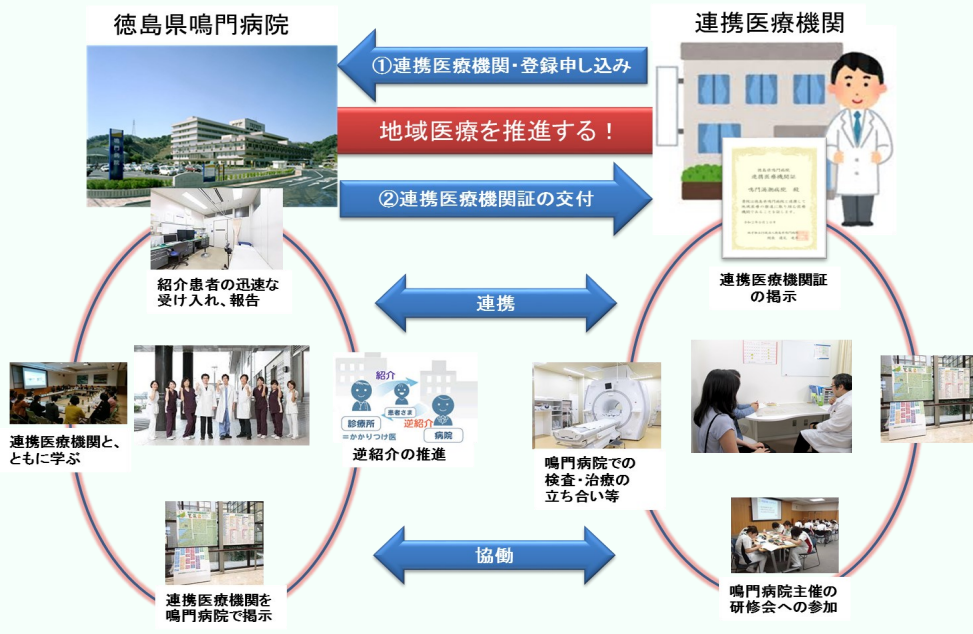
事務員が... 入院手続きのこと

ケアマネジャー 訪問看護師 行政機関等と連携

入院を向かえるにあたって心配なことを確認し、相談に乗り、丁寧な説明。

事項に続く

## 徳島県鳴門病院・連携医療機関 登録制度



《申込みを頂いている医療機関一覧》

### 《鳴門市》

医療法人吉田整形外科  
 医療法人斎藤整形外科  
 医療法人橋本医院  
 医療法人緑和会佐藤整形外科医院  
 福田医院  
 津田クリニック  
 医療法人うずしお会岩朝病院  
 中西医院  
 さくら耳鼻咽喉科クリニック  
 医療法人靖仁会沢内科胃腸科  
 医療法人田口小児科クリニック  
 医療法人貴和会勝良医院  
 医療法人板東診療所  
 医療法人原田医院  
 岡崎内科循環器科  
 医療法人よつ葉会すがい眼科  
 医療法人久仁会鳴門山上病院  
 斎藤医院  
 医療法人静幸会今井メカクリニック  
 社会福祉法人小渦会鳴門ソール病院  
 だいらクリニック

医療法人かわの内科アレルギー科  
 医療法人レディースクリニック兼松産婦人科  
 医療法人浜田皮心泌尿器科  
 社会福祉法人小渦会いやしの杜クリニック  
 医療法人敬愛会南海病院  
 医療法人うがい医院  
 医療法人西條会西條内科  
 医療法人敬愛会鳴門メカクリニック・ココカ  
 医療法人愛生会兼松病院  
 医療法人緑会小川病院  
 浜中内科医院  
 森本内科循環器科  
 大谷の里クリニック木洩れ日  
 医療法人秀授会元木医院  
 たきファミリークリニック  
 医療法人谷医院  
 高田内科医院

### 《松茂町》

医療法人弘誠会浦田病院  
 医療法人悠穰会芳川病院  
 医療法人誠心会香藤内科胃腸科  
 クリニック宙

### 《北島町》

医療法人堀口整形外科  
 医療法人白樺会新居内科  
 つかさクリニック  
 きたじま皮膚科  
 徳島健康生活協同組合  
 健生きたじまクリニック  
 医療法人山田会山田外科内科  
 医療法人藤本クリニック  
 医療法人高田整形外科  
 医療法人けいけいクリニック  
 医療法人きたじま倚山会  
 きたじま田岡病院  
 医療法人修誠会吉野川病院

### 《藍住町》

医療法人中川整形外科  
 医療法人小松泌尿器科  
 医療法人西條内科耳鼻科  
 医療法人爽健会近藤外科内科  
 医療法人美遙会あいずみ皮膚科  
 医療法人清樹会清水内科  
 医療法人明和会  
 藍住たまき青空クリニック  
 医療法人藍生会浜病院  
 社会医療法人凌雲会稲次病院  
 こうのINRクリニック  
 中山産婦人科

### 《板野町》

医療法人新野医院  
 医療法人ファミリークリニックしんの  
 医療法人十全会井上病院  
 医療法人近藤内科医院  
 独立行政法人国立病院機構  
 東徳島医療センター  
 三愛内科

### 《石井町》

医療法人石岡整形外科

### 《東かがわ市》

医療法人社団静楓会みさごクリニック

(地域別受付順)

R2.12.23 現在

今年度10月より、患者サポートセンターの2代目センター長として長樂雅仁先生が就任しました。患者さんやそのご家族をサポートしていくために、こういった取組が鳴門病院としてできるか…スタッフだけではなく、院内外の皆さんからもご意見やご提案をいただき、長樂先生をはじめスタッフ一同、力をあわせて形にしていきたいと思っております。患者サポートセンターへのご支援・ご協力を是非、今後ともよろしくお願いいたします。

ご寄贈いただきました 

 ありがとうございます  
ごさいます

当院の元放射線科部長 **松本 隆裕 様** より、  
 車椅子1台、歩行器1台をご寄贈いただきました。  
 外来患者様や入院患者様の為に活用させていただきます。  
 ありがとうございました。



# ブルーライトアップ

11月9日(月)の17時から、世界糖尿病デーに伴い中庭のブルーライトが点灯されました。

今年は点灯式は行わず、ライトアップのみとなりましたが、大鳴門橋や渦潮をモチーフに、木々に装飾された綺麗なブルーライトが中庭を彩っています。



## 糖尿病患者様との関わり

世界糖尿病デーに伴い、今回は普段当院で密接に糖尿病患者様と関わっている糖尿病認定看護師の二人に、お話を伺いました。

糖尿病認定看護師  
内科外来副看護師長

廣田 美香



糖尿病認定看護師  
4階西病棟看護師

中野 真希



私達糖尿病看護認定看護師は、糖尿病をもつ人を「患者さん」としてではなく、「社会や家族の一員として生活している人」と捉え、糖尿病をもつ人が生涯にわたり糖尿病と上手に付き合いながら、その人らしく生活していくことをお手伝いしていくための、パートナーとして活動しています。その為、現在のように新型コロナウイルスの流行が続き、日々生活環境が変わる中、糖尿病患者さんの療養生活がどのように変わってしまうのか、血糖コントロールが悪化しないか、心配しながら外来診療、療養指導に携わり、もうすぐ1年が経とうとしています。

振り返ってみますと、血糖コントロールが悪化していない又は良くなっている患者さんが多くいらっしゃることに気が付きました。理由としては、外出を控え外食が減ったこと、一人で過ごす時間が長くなり散歩や庭の手入れ、できるだけ買い物に行かず、家にあるもので食事の用意をするなど、日々の生活を丁寧に過ごされるようになったからでした。その反対に、運動ができなくなった、出かけられないストレスから間食が多くなった方もいらっしゃいましたが、現在の生活状況から食習慣、運動習慣の見直し、ストレスマネジメントなどを一緒に行うことで、やる気を出される患者さんもいらっしゃり、柔軟に対応しようとする患者さんを頼もしく思うことがあります。

今後は、感染対策はもちろんのこと、日々変わる生活環境下で、糖尿病患者さんの療養生活にすぐ役に立つような情報提供、支援を継続して行っていこうと考えています。

私は現在内科の病棟で勤務しているので、入院中の糖尿病がある患者さんに関わる機会が多いのですが「入院中はいけるんやけど…帰ったらなかなか思うようにはいかな。」と自宅での療養生活の難しさをよく伺います。難しいこととしては、まず食事療法をあげられる患者さんが多いように感じます。自宅では、お菓子や果物、ご近所からのおすそ分け等々誘惑がたくさんあるようです。また仕事や家事育児などに忙しく、患者さん自身の体のことが後回しになってしまうこともあるのではと考えられます。

以前患者さんから「あれもこれもあかん。もう食べるものがない。楽しみがないわ。」という言葉が聞かれました。糖尿病に食事療法は欠かせず、また合併症の病期などによって塩分など制限が増えてくることも事実です。食べる楽しみがないと感じることは辛いことだと思います。

療養指導の際には、実際の生活を想像して実践していけそうなことを一緒に考えたり提案することや、わかりやすく具体的な内容を示すことを心がけています。果物などの一日の目安量をお示しすると「意外とようけ食べれるんやな」と話される患者さんもいました。

これからも糖尿病について幅広い知識をもって、糖尿病をもつ患者さんのよりよい療養生活をサポートしていきます。





令和2年11月19日（木）、徳島県鳴門病院附属看護専門学校で、1年生の戴帽・点火式が行われ、第10期生37名が看護への道のさらなる第一歩を踏み出しました。

来賓、病院職員、上級生、保護者に見守られる中、一人ひとり喜喜欢看護局長よりナースキャップを戴き、看護師を志す想いや決意を新たにしました。厳かな雰囲気にも包まれる中、自らで考えた「誓いのことば」を全員で唱和しました。

## 戴帽・点火式を迎えて

入学してから7か月が経ちますが、毎日がとても充実していて日々大切さを実感しています。授業や演習では、難しいこともたくさん増えてきましたが、逃げることなく積極的にコツコツと努力していきたいです。これから先、時に挫けそうになることもあると思いますが、クラスの仲間と支え合って乗り越えていきたいです。先生方や家族、応援してくれる方への感謝の気持ちを忘れずに、夢である看護師になれるよう頑張っていきたいです。

美馬 来夢叶



現在、コロナ禍の中、このような戴帽・点火式を迎えられることをありがたく思います。入学してから7か月が経ち、勉強や演習も本格的に始まり、難しくなってきたと感じています。学年が上がるにつれ学ぶ内容は更に難しくなってくると思います。しかし、この困難を乗り越えた先には「看護師」という未来が見えてきますので、前を向き、地道に頑張っていきたいです。

岡本 直弥

徳島新聞に掲載されました

### 第10期生 戴帽・点火生誓いのことば

患者様とその家族から信頼され、優しく寄り添い、笑顔が届けられる看護師を目指します

初心を忘れず、安心・安全・安楽な看護が提供できるよう、勉強とともに技術を磨き、日々努力し続けます

医療チームの一員として多職種と助け合い、患者様一人ひとりの心身の回復を思い、人として成長できるよう、精一杯努めます

人々を苦しめる病に負けず、仲間たちと協力し、これからの医療現場を支えられる看護師になれるよう、夢に向かって進んでいくことをここに誓います



私たち10期生は入学してから7か月が経ち、学校生活にも少しずつ慣れてきました。入学時は不安と共に自分の夢を叶える第一歩として喜びでいっぱいでした。勉強の内容も少しずつ専門的になりますが、勉強したことを実践して活かせるように日々努力していきたいです。そして看護学生として責任と誇りを持ち、同じ志を持つ仲間と励まし合いながら、それぞれの夢に向かって成長し、患者さんに寄り添う看護が行えるようになりたいです。

松家 希歩



# 看護学校 Open Campus 2020 開催されました



今年は在校生の参加ができなかった為、ウエルカムボードを作成し、メッセージをお伝えしました。

2020年 8月22日(土)・29日(土)  
 鳴門病院附属看護専門学校でオープンキャンパスを開催しました。  
 今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、例年とは違った新しい形での開催となりましたが、二日間で計170名(22日:85名、29日:85名・保護者含む)と昨年を上回る多くの方が参加さしてくださいました。

皆様のご協力をいただき、安全にオープンキャンパスを終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。



感染症対策の為健康チェックを実施



学校職員が設備の説明等を行いました。



一参加者のアンケートより—

- ☆学習環境や設備が充実しており、とても良かったです。
- ☆充実した学校生活が送れそうだと思います。
- ☆将来の自分について改めて考え、看護師になりたいという気持ちがさらに大きくなりました。
- ☆保護者として参加しました。学校生活や勉強について知り、寮などを見ることができて安心しました。

## 「今年こそは...」 で終わらせない☆

## 健診のススメ!



「いつかは受たいけど...」「今は特に悪いところは無いし」と思いながら時間が過ぎている方も多いと思います。健診は健康であるかを判定するためのものです。保険適応外の自費診療にはなりますが、自分の体のことを知ることができ、症状が悪くなる前に病気を早期発見することにも繋がります。今回は、**当院健康管理センター**で行っている**健診のコース**をご紹介します。健診をうけることで皆さんが自分の体の変化に気づき、健康を維持する手助けとなれば幸いです。

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| ①定期健康診断   | ⑤1日脳ドック                     |
| ②生活習慣予防健診<br>(協会管掌健康保険の方)   | ⑥いきいき人間ドック<br>(がん健診に特化した項目) |
| ③生活習慣病予防健診  | ⑦PET-CTがん健診                 |
| ④人間ドック<br>・2日コース<br>・日帰りコース<br>当センターは日本人間ドック学会より <b>優良2日人間ドック施設の認定</b> を受けています。 | ⑧糖尿病予防健診                    |
|   | ⑨オプション検査                    |

### 健診の流れ (例)人間ドック2日コース

- 健診申込み**  
すべて予約制になっております。お電話またはご来院にてお申し込みをしていただきます。
- 健診当日**  
受付：8時～(1日目)  
終了：正午頃(2日目)  
【当日持参するもの】  
・健康保険証 ・健康調査表  
・婦人科問診票 ・めがね(必要な方)
- 結果説明**  
担当の内科医が当日、検診結果を受診者に全て説明しています。その時に、疑問点に関する質問にお答えしていますし、今後の生活習慣の改善方法に関しても指導しております。
- 精密検査**  
健診結果で精密検査が必要となった場合は受診をお勧めします。

## 新生児蘇生法講習会 2020.11.10(火) 場所:LDR



当院産婦人科では毎年1~2回程度、新生児蘇生の講習会を行っています。  
今年は小児科の医師とともに講習会を行いました。

### 小児科 副部長 渡邊 典子

新生児の救急蘇生を2回にわたり、スタッフの皆さんと一緒に人形を使い確認しました。妊娠経過に特に問題なく、分娩直前まで経過順調であるベビーでも仮死となる場合があります。今回は出生時、Apg0点のベビーを取り上げるところからの対応を、医師が不在の場合を想定して確認しました。

出生直後から蘇生が確実に行われないと、救命率は時間を経るごとにどんどん下がっていきます。出生時より5分以内に蘇生されなければ、障害を残す可能性がぐんと高くなります。出生直後、医師が立ち会えない場合は来棟するまで、胸骨圧迫とマスクバギングが有効になされる事が重要です。人形を相手に冷静な状態で一連の蘇生、事前に用意できる薬剤などを再確認することで、改善できることなどを話し合いました。話し合う中で、スタッフの皆さんの仮死の赤ちゃんを何とか助けたいという気迫が伝わってきました。

蘇生は処置自体はシンプルですが、一人では出来ず何人かが協力し合いながら速やかに行わなければいけません。仮死となっても、元気に立ち上がってくれる赤ちゃんが一人でも増えたらと願っています。

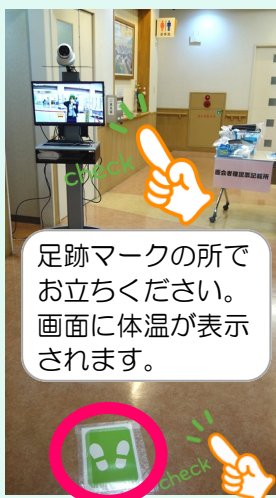


## サーモグラフィーを 導入しています

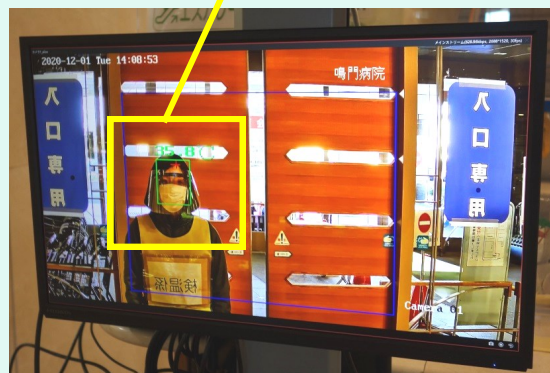
検温場所を正面玄関から入って  
左側に変更しています。



足跡マークの所でお立ちください。  
画面に体温が表示されます。



37.0度以下であれば、**緑色**で体温が表示され、**37.0度以上**である場合、**赤色**で体温が表示されます。体温が高い場合は問診をさせていただきます。



引き続きとなりますが、基本的な、**マスク着用・手指消毒・人との間隔を空ける**ことをお守りいただき、感染予防対策にご協力をお願い致します。

## 研修医のつぶやき

### 研修医（1年次生）

前田 卓哉



はじめまして、徳島県鳴門病院研修医1年目の前田です。鳴門病院に勤務させていただいてから、はや半年あまりが過ぎました。目の前の業務に追われる毎日で、ここまであっという間でした。研修が始まった時は採血や縫合などの手技であったり、問診・身体診察など必要なことがきちんと行えず不安を感じていましたが、鳴門病院のスタッフの方々のご指導により今ではなんとなく形になってきていると実感できています。

鳴門病院の研修プログラムでは、内科で腹部エコー、外来、内視鏡検査などに参加し、午後からは病棟業務を行います。エコーの当て方や外来での診察、鑑別疾患、内視鏡の所見や操作のコツなど分りやすく教えてくださいました。

外科では主にオペに参加し、縫合の技術や解剖の知識などを学びました。また、今年は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催になりましたが、臨床外科学会に参加させていただき指導医の先生にはとても貴重な経験をさせていただきました。

今年から救急科が新しく標榜され、3ヶ月の救急科での研修は必修となりました。救急隊からの報告を受けて主訴や病歴から鑑別疾患を挙げ、必要と思われる診察と検査を行い診断し、患者様の様々な背景も考えながらその後の方針を決定していくことは、慣れないうちはとても難しく感じました。救急の指導医の先生や看護師さんは右も左も分からない1年目の研修医に優しく、時には厳しく教えてくださいました。

小児科では小児・新生児の採血、ルート確保の手技を経験させていただき、その難しさを身をもって知りました。大学病院とは違い流行性の疾患が多く、健診や予防接種も行っているため忙しいです。外来に来るのは軽症の子が多いですが、重症化する前に早期から治療することが大切です。これからも各科で研修をさせていただきますので、どこかでお会いしたら気軽に声をかけてください。

最後にご指導くださった先生方、スタッフの皆様、そして関わった患者様方にお礼申し上げます。ありがとうございます。

## 「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

単位 (%)

診療科	7月		8月		9月	
	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率
内科	62.7	142.2	61.8	191.2	78.1	210.9
循環器内科	100.0	436.4	100.0	380.0	80.0	393.3
小児科	69.2	7.7	73.7	26.3	66.7	8.3
外科	62.5	118.8	75.0	237.5	100.0	185.7
整形外科	86.5	60.3	84.4	77.0	87.5	82.8
形成外科	90.3	12.9	87.0	17.4	84.0	12.0
脳神経外科	50.0	160.0	69.2	184.6	66.7	143.3
皮膚科	51.9	3.7	42.9	14.3	64.0	8.0
泌尿器科	100.0	150.0	94.7	68.4	100.0	206.7
産婦人科	68.8	41.7	71.1	33.3	72.7	29.5
眼科	60.0	100.0	87.5	75.0	40.0	0.0
耳鼻咽喉科	50.0	100.0	80.0	120.0	33.3	33.3
放射線科	100.0	156.7	100.0	140.0	100.0	133.3
計	75.2	93.5	78.2	107.1	80.6	110.6

### 【地域医療支援病院紹介率基準】

- ① 紹介率が80%を上回ること
- ② 紹介率が65%を上回り、かつ逆紹介率が40%を上回ること
- ③ 紹介率が50%を上回り、かつ逆紹介率が70%を上回ること

### 令和2年9月 紹介患者件数

151医療機関より  
525件ご紹介いただきました。



### 編集・発行元

地方独立行政法人徳島県鳴門病院  
病院広報委員会 編集長 漆川 敬治  
〒772-8503 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32  
TEL 088-683-0011(代) FAX 088-683-1860

鳴門病院

ホームページもご覧ください♪  
<https://naruto-hsp.jp/>



## 外 来 診 療 案 内

令和2年11月1日現在

受付時間 午前8:30~11:30

- ◆当院では全診療科で予約診療を行っております
- ◆診療科によっては受付時間が異なります

休 診 日 土・日・祝日及び年末年始

徳島県鳴門病院 予約センター

TEL 088-683-1857

予約センター受付時間(土・日・祝日・年末年始除く)

8:30 ~ 16:30

診療科名	月	火	水	木	金	備 考
内 科	新患外来	中野 綾子	長樂 雅仁	日浅 由紀子	山口 佑樹	宮城 順子
	一 診 (専門外来)	日浅 由紀子	藤本 浩史 (神経)	中野 綾子 (血液)	山村 篤司郎	武市 俊彰 (血液)
	二 診 (専門外来)	辻本 賀美	藤本 大策 (消化器)	宮城 順子 (消化器)	山下 雄也 (膠原病)	山村 篤司郎
	三 診	浅井 孝仁 (検診2次)	山口 佑樹	宮城 愛	川田 知代	長樂 雅仁
	四 診 (糖尿病内分泌)	藤中 雄一	藤中 雄一 糖尿病透析予防外来		藤中 雄一	藤中 雄一
五 診 (検診2次)		宮城 愛	長樂 雅仁			
循環器内科	一 診	山崎 宙	志村 拓哉	大学医師	志村 拓哉 (再診のみ)	山崎 宙
	二 診				ペースメーカー外来	心臓血管外科
小 児 科	一 診	小川 由紀子	渡邊 典子	小川 由紀子	小川 由紀子	小川 由紀子
	二 診	渡邊 典子		渡邊 典子	アレルギー外来新患 (市岡 隆男)	渡邊 典子
	午 後 (特殊外来)		乳児健診 アレルギー外来 (市岡 隆男)	予防接種	アレルギー外来 (市岡 隆男)	
外 科	一 診	坂東 儀昭 (新患のみ)	尾方 信也	坂東 儀昭	尾方 信也	坂東 儀昭
	二 診		松本 亮祐	松本 亮祐		
整形外科	一 診 (初診)	平野 哲也	千川 隆志 (脊椎青髄)	眞鍋 裕昭 (脊椎青髄)	横山 賢二	百田 佳織
	二 診 (再診)	眞鍋 裕昭	遠見 達彦	百田 佳織	平野 哲也	千川 隆志
	三 診 (再診)		横山 賢二			
	手の外科	日比野 直仁		日比野 直仁	横尾 由紀	日比野 直仁
	午 後	検査・手術	検査・手術	検査・手術	検査・手術	検査・手術
脳神経外科	午 前	阿川 昌仁	大畠 義憲	手術	大畠 義憲	阿川 昌仁
	午 後	(ドック・検査)	(ドック・検査)		(ドック・検査)	(検査・手術)
皮 膚 科	午 前	長江 哲夫	長江 哲夫	大学医師	長江 哲夫	長江 哲夫
	午 後		(手術)	(手術)	長江 哲夫	
泌尿器科	一 診	湊 淳	大学医師	湊 淳	小泉 貴裕	小泉 貴裕
	二 診		小泉 貴裕			湊 淳
産婦人科	一 診	漆川 敬治	炬口 恵理	山田 正代	漆川 敬治	炬口 恵理
	二 診 (10:30~)	山田 正代	漆川 敬治	炬口 恵理	山田 正代	
	午 後	漆川 敬治	炬口 恵理		山田 正代	
眼 科	午 前	篠原 輝実 (大学医師)		岩田 明子 (大学医師)	仁木 昌徳 (大学医師)	大学医師
	午 後	篠原 輝実 (大学医師) 検査		岩田 明子 (大学医師) 検査	四宮 加容(第1週) 斜視・弱視外来 (大学医師) 仁木 昌徳 (大学医師) 検査	大学医師 検査
耳 鼻 科	午 前		大学医師		大学医師	
放射線科	一 診	山中 森晶 荒瀬 真紀	山中 森晶 岩本 誠司(IVR)	山中 森晶	山中 森晶 音見 暢一	山中 森晶
	放射線治療		川中 崇			川中 崇
形成外科	午 前	山野 雅弘	山野 雅弘	手術	山野 雅弘	山野 雅弘
	午 後	手術	手術	手術	手術	手術
救急科	午前・午後	奥村 澄枝	奥村 澄枝	奥村 澄枝	奥村 澄枝	奥村 澄枝
緩和ケア	午 後	山村 篤司郎				14:00~16:00

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください